

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |            |  |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 1271600510        |            |  |
| 法人名     | 医療法人社団 寿光会        |            |  |
| 事業所名    | グループホーム いきいきの家 成田 |            |  |
| 所在地     | 千葉県成田市宝田362-2     |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成26年11月13日       | 評価結果市町村受理日 |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|   |
|---|
| <p>近隣には、成田山新勝寺、大型ショッピングモール、成田空港がある。今までは緑豊かな田園が広がっていたが、系列の老健が次年度完成予定である。<br/>職員はホーム理念の「いきいき」「健やかに」「安心した生活」の気持ちを大切に、日頃の業務ケアにあたっている。</p> |
|---|

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                 |  |  |
|-------|-----------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 日本ビジネスシステム |  |  |
| 所在地   | 千葉県市川市富浜3-8-8   |  |  |
| 訪問調査日 | 平成26年11月15日     |  |  |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|   |
|---|
| <p>「グループホームいきいきの家成田」の周辺には、成田山・大型ショッピングモール・成田空港があり、利便性に富んでいる一方、自然豊かな環境に囲まれている。施設内は、バリアフリーで、エレベーターの設置・介助スペースの確保もなされており、入居者の安全面に配慮した設計となっている。理念に「いきいき」と「健やかに」「その人らしく」を掲げており、入居者の尊厳を大切にしていると共に、入居者一人ひとりの担当職員が記入するレポート「ひもときシート」を活用し、入居者の思いや意向をわかりやすくまとめており、本人本位の介護計画の作成及びその人らしい生活の支援に努めている。また、今後は、施設の隣に法人の老人保健施設が建設される予定となっており、連携を含めた柔軟な支援の実現が期待されている。</p> |
|---|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|---|---|--|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○ 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○ 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)    | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○ 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○ 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |  |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|-------------------|-----|---|---|---|-------------------|
|                   |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I.理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |                   |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                      | 安心した生活、技術の向上を理念に掲げ、ホームの方向性を常に念頭に置いている。        | 「いきいきと」「健やかに」「その人らしく」を主眼とした施設理念を掲げており、事業所内に掲示をしている。また、理念においては新人研修等にて説明をしており、全職員への理解を深めている。  |                   |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                      | 地域の行事(ゴミゼロ運動など)に参加したり、ホーム周辺の散歩時に近隣との交流を図っている。 | 日頃から地域住民とは挨拶を交わす関係を築いていると共に、地域行事への参加等を通じて、地域との交流を図っている。また、家族を中心に施設行事への招待を計画する等、外部との交流に努めている。  |                   |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                    | 実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法をお伝えしている。          |   |                   |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 評価結果や改善点等、ご家族様と話し合い、より良いサービスを目指して実施している。      | 運営推進会議を年4回開催しており、地域包括支援センター職員・家族・職員等が出席している。議題として、施設の活動報告や意見・情報交換を行っており、施設理解の促進及びサービスの質の向上に繋げている。   |                   |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる           | 地域包括や社協等を通じて交流がある。                            | 日頃から市に対して、業務における相談や報告を行い、連携を図っている。また、小規模・グループホーム連絡会に参加しており、市との情報交換・空き情報等の情報の共有を図っている。必要に応じて、地域包括支援センターや社会福祉協議会に相談をする等、業務改善及び質の向上への連携を図っている。 |                   |

【千葉県】グループホーム いきいきの家成田

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|-----|---|---|--|-------------------|
|    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束は絶対行わないという姿勢で全職員がケアに取り組んでいる。                      | 身体拘束排除におけるマニュアル整備や外部研修への参加を行っており、職員への理解を深めている。入居者の尊厳に配慮した支援を目指しており、困難事例の場合においても、安全確保を考慮しながら適切な支援方法を検討している。   |                   |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 以前研修に参加した職員よりの報告を、内部でも業務に徹底している。                      |  |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している   | 事例を通して権利擁護について学び理解をしていく。                              |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | ホームの見学を通し、契約時利用者様・ご家族様の不安・疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                    | 意見箱を設置している。契約時には外部への相談窓口について説明している。                   | 家族の訪問時・電話連絡時等を活用し、意見・要望の把握に努めている。また、定期的に家族に施設季刊誌を発行しており、家族に対して活動内容の周知及び理解促進を図っている。挙げた意見・要望においては、連絡ノートや会議を活用し、周知・検討の上、適切な改善に努めている。                        |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                     | 本部運営者や管理者による面談の機会がある。                                 | 定期的に会議を開催しており、職員からの意見・提案等を把握している。また、定期的に職員面談を実施していると共に、直接法人幹部に相談ができるホットライン制度が敷かれており、職員の意見に耳を傾ける仕組みが整備されている。その他にも、希望休・有休の調整や介護資格支援制度等、働きやすい職場環境の整備に努めている。 |                   |

【千葉県】グループホーム いきいきの家成田

| 自己                           | 外部 | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------|----|--|---|------|-------------------|
|                              |    |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12                           |    | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 資格取得への費用の補助や取得後の手当てがある。                         |      |                   |
| 13                           |    | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 内外部の研修に参加できるように配慮している。                          |      |                   |
| 14                           |    | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 成田市ケア会議、グループホーム連絡会を通じ、情報交換を行っている。               |      |                   |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |    |  |   |      |                   |
| 15                           |    | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入居前の面談、施設や病院などへの訪問して、入居前の不安を出来るだけ取り除くようにしている。   |      |                   |
| 16                           |    | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | ホームを見学して頂き、入居前からご家族様の求めていることや、希望を聴いて信頼関係に努めている。 |      |                   |
| 17                           |    | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 当ホームのサービスだけではなく他の利用法やその方に適したサービスをアドバイスしている。     |      |                   |
| 18                           |    | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 自立支援を念頭に接する。また入居者様の意見や知恵を借り、お願いする等の場面を設ける。      |      |                   |
| 19                           |    | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 当ホームより月1回のペースで生活の様子をレポートで送っている。情報、共有を密にしている。    |      |                   |

| 自己                                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|-----|---|--|---|-------------------|
|                                    |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 20                                 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                    | 馴染みの場所や地域への外出を支援している。  | 友人・知人・家族・親戚等の面会を随時受け付けていると共に、手紙のやり取りや外泊等も可能となっており、馴染みの人や家族との関係継続に配慮している。また、家族の協力を得ながら、馴染みの場への外出を支援しており、戸外での楽しみを提供している。                                  |                   |
| 21                                 |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                   | 入居者同士の関係がより良くなるよう職員が橋渡しをしている。                                |   |                   |
| 22                                 |     | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去先への訪問等を行っている。  |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |     |   |  |   |                   |
| 23                                 | (9) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | 日々の生活や会話の中から入居者様のニーズを引き出している。                                | 契約時に本人・家族から以降・生活歴・身体状況等を確認していると共に、必要に応じて、医療機関や他サービス事業所からも情報提供を受けており、より詳細な情報の把握に努めている。また、連絡ノートや担当職員が作成しているレポート「ひもときシート」を活用し、本人の思い・要望等を職員間で共有できるよう工夫している。 |                   |
| 24                                 |     | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | センター方式を活用し共有して把握に努める。  |   |                   |
| 25                                 |     | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | ケアプラン、介護記録、申し送り等により状態を把握している。2ユニット合同の申し送りを行いお互いのユニットを把握している。 |   |                   |

【千葉県】グループホーム いきいきの家成田

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアカンファレンス、担当者会議によりプランを立てている。入居者様、職員、家族様の声を反映し、ホームサービス計画が作成されている。 | 定期的な会議を開催しており、検討内容を踏まえた上で、介護計画を作成している。定期的に目標の達成状況の確認及び評価を行っており、必要に応じて介護計画の見直しを図っている。入居者それぞれに担当職員を配置し、入居者の情報を定期的にレポートにまとめており、本人の意向・思いに沿った介護計画の作成につながるよう工夫している。                                     |                   |
| 27 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 介護記録、センター方式を活用し情報の共有を図る。   |   |                   |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 可能な限りニーズに対応している。   |   |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | ボランティアの導入等を行っている。  |   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                     | 受診は本人、家族様の希望を大切に、入居時に往診医が居ることも説明して支援している。                        | 入居者・家族の希望の医療機関への受診が可能となっており、必要に応じて、職員・看護師が付き添い・同行をしている。定期的に内科医・歯科医の往診が実施されており、適切な医療支援に努めている。また、非常勤の看護師による健康管理・医療面における家族への説明等を行っており、入居者・家族の安心に繋がっている。その他にも、ボランティアによる体操教室等を実施しており、残存機能の維持・向上に努めている。 |                   |

【千葉県】グループホーム いきいきの家成田

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価                            | 外部評価   |   |
|----|------|---|---------------------------------|--|---|
|    |      |   | 実践状況                            | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 協力病院からの看護師の訪問にて相談し、健康管理を支援している。 |  |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 出来るだけ早期に退院できるように情報交換や相談に努める。    |  |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 重度化に対する指針を設け、それに沿ってケアに取り組む。     | 終末期・重度化においては、施設の指針を明文化しており、家族の同意を得ている。必要時には、家族と話し合いを行い、意向に沿った支援が行えるよう外部との連携を図っている。また、緊急搬送や緊急時対応におけるマニュアルを整備しており、入居者の急変時における対策を講じている。 |   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時マニュアルを基に対応している。              |  |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 年2回定期的に訓練をしている。                 | スプリンクラー・自動通報機・火災報知器等を設置していると共に、年2回の消防避難訓練及び消火機器の定期点検を行っている。訓練では、消防署立会いの下、消火訓練や非常口を使った避難方法の確認等を行っている。                                 | 現在、具体的な形で地域住民との災害時における話し合いが実現していない為、今後は、運営推進会議や日頃の声掛け等を活用し、非常災害時における協力の呼びかけを行って頂く事を期待します。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |   |
|----------------------------------|------|--|--|--|---|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |  |   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 入居者様への尊厳を念頭に置き、接遇を周知している。                          | 定期的にプライバシー保護や接遇等の研修を実施しており、職員への理解を促進している。入居者の尊厳への配慮に努めており、個々の性格に合わせて同性介助を実施する等の工夫を行っている。また、個人情報に関する同意書を交わしており、個人情報保護にも努めている。   |   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 個々に配慮した場面を、職員が理解し日常生活で選択できる場面がある。                  |  |   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一日の生活の中で、個々のペースを乱すことなく生活できる支援をしている。                |  |   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 洋服等希望により、おしゃれ、身だしなみが出来るように支援している。                  |  |   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 職員と一緒に食事する事で情報を得ている。野菜の下ごしらえ、テーブル拭き等参加できる。         | 入居者の希望や能力に応じて、食事の準備から片付けまで共同で行っている。献立の作成及び食材の配送を業者に委託しており、栄養バランスに配慮した食事提供を行っている。入居者の身体状況や嗜好に合わせて刻み食・ミキサー食・代替え職を用意し、適切な食事提供にも努めている。その他にも行事食・外食会等を企画・実施しており、食に対する楽しみを提供している。 | 食事における人員配置の見直しを図り、入居者の安全確保・スムーズな食卓の準備を行い、入居者及び職員が落ち着いて食事を楽しめる環境整備に取り組んで頂く事を期待します。 |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 委託により管理栄養士が栄養のバランスを確保している。水分量が確保できるようにチェック表を用いている。 |  |   |



【千葉県】グループホーム いきいきの家成田

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 食後に口腔ケアを行っている。また、個々に合った口腔ケアも行っている。              |  |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | 個々の排泄パターンを把握する。時間での誘導可能な限り、トイレでの排泄が出来るよう支援している。 | 排泄チェックリストを活用しながら個々の排泄パターンを把握すると共に、入居者の様子や状況に応じて、トイレ誘導・声掛けを行っており、適切な支援を行っている。夜間においては、ポータブルトイレの使用やトイレ誘導を行い、おむつやパットの使用頻度軽減にも努めている。その他にも体操の実施や食事・水分摂取の声掛け等を通じて、自然排便を促すよう努めている。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 自然排便を目指し、食事・水分の摂取状況を把握すると共に、散歩やラジオ体操等努めている。     |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ご本人の希望を伺い支援している。入浴用リフトも利用しているので身体の負担も少なく入浴できる。  | 入浴においては、入居者の希望や体調等を考慮の上、調整しながら適切な入浴機会の確保に努めている。必要に応じて、清拭・部分浴・シャワー浴を実施し、清潔保持にも努めている。1階ユニットには、リフト浴槽が設置されており、入居者の身体状況に合わせた入浴が可能となっている。  |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 安眠に適した環境の整備、生活のリズムの把握に努める。安心して気持ち良く眠れるよう支援している。 |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                   | 服薬管理マニュアルに沿って実施している。                            |  |                   |

【千葉県】グループホーム いきいきの家成田

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている  | 個々に合ったお手伝いをして頂ける様な場面を作り、張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう支援している。 |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 四季に合わせた外出レク、散歩を実施している。                             | 日頃から散歩等の外出支援を行っていると共に、定期的に外出会を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。また、敷地内の花壇を活用して土いじりや季節の花々を楽しむことができる環境が整備されており、入居者の楽しみとなっている。                       |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 本人管理(少額)でお金を持っている場合は、買い物に出掛けたりして支援している。            |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 本人の希望により、電話が出来るように支援している。                          |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 清潔を保ち明るさや音の配慮にも心がけている。                             | 施設は2階建ての建物となっており、エレベーターの設置・介助スペースの確保がなされている。共有スペースには、ソファ・椅子・和室スペースが設置されており、入居者が自由にくつろげる環境となっている。施設随所に入居者の作品や行事写真を掲示しており、楽しい雰囲気作りもなされている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 和室のコタツやソファにてゆっくり過ごす事ができる。                          |  |                   |

【千葉県】グループホーム いきいきの家成田

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価                                   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況                                   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた物を持参して頂き、居室は入居者様の身体状況に合った配慮をしている。 | 入居者・家族の希望に応じて、馴染みの家具等を自由に持ち込むことが可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。また、布団を敷くこと・ポータブルトイレの使用・テレビの設置も可能となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 手摺り等も設置され、環境整備を心がけ、安全に生活できるよう配慮している。   |   |                   |